

学校 授業改善

市では、昨年度から『こうか授業術「5箇条」』という授業スタイルを取り入れています。これは、児童生徒一人ひとりが主体的に学ぶことをめざした学習形態で、市内の市立小中学校で実施しています。

この「5箇条」を基本に授業を進め、思考・判断・表現力など学力の向上を図っています。

こうか授業術「5箇条」の推進

こうか授業術「5箇条」

～子どもが考え挑戦し学びとる授業をつくる～

詳しくは、次のページから説明します。

つ **なげる課題の提示**
(家庭学習の充実)

じゃ **業のまとめと振り返り**

か **んがえつなげて話し合い**

う **んと考えひとり学び**
(自力解決)

こ **どもとめあての共有**

新しく設置されたエアコン(貴生川小学校)▶



整備された洋式トイレ
(甲南第一小学校)◀



子どもたちが、快適に学習できる教育環境を整えるため、今年度から教室へのエアコン設置とトイレの洋式化を進めています。

今年度、エアコンは9校、トイレの洋式化は11校を対象とし、工事を進めています。次年度以降も順次整備を進めていきます。

順調に進んでいます 小中学校の エアコン・洋式トイレの整備

特集 教育

生きる力を育てる

～子どもの確かな成長に向けて～



本市では、学校、家庭、地域が一体となり、オール甲賀で子どもたちが、いきいきと健やかに、安心して夢を追い続けることができるまちをめざしています。

子どもたちが自ら学んで考え、判断して行動する「生きる力」を育てることができるよう、学校ではこうか授業術「5箇条」を中心とした授業を進めています。また、小中連携による一貫教育の推進やICT教育環境、エアコン・トイレの整備などの取り組みも行っています。今回はこれらの取り組みについて紹介します。

9年間で学びます 小中連携でつながる教育

多くの子どもたちは、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行することに、期待を膨らませると同時に一定の不安を抱えています。その不安が「中一ギャップ」といわれるような現象を起し、諸問題につながっていくケースも見られます。

市では、小学校と中学校をスムーズにつなぎ、9年間の学びを通して、「社会に挑む、夢と力を蓄えた中3生」を育てていくために、小中連携・一貫教育の取り組みを進めています。

- ① 中学校教員による小学生への授業
- ② 小学生と中学生との交流
- ③ 小・中学校教員の交流・合同研修会



▲中学校教員(理科)による小学校での授業